

平成25年度地域密着型金融に関する通期取組状況 (H25.4～H26.3月)

当金庫は、「地域と共生し豊かな街づくりに奉仕する。」「顧客に最良の金融サービスを提供し信頼に応える。」ことを経営理念として掲げ、創業以来培ってきたお客さまとのリレーションシップをもとに、地域金融機関としての機能発揮に役職員一同本気で取組み、「地域で最も信用、信頼される金融機関」を目指しています。

平成25年度は、24年度に強化した企業支援態勢のもと、「顧客企業の経営改善等に資するコンサルティング機能の発揮」に注力するとともに、「地域の面的支援・活性化への取組強化」「地域や利用者に対する積極的な情報発信」の推進を通じて、地域密着型金融の実践に積極的に取組みました。

なお、平成26年2月に企業支援部門スタッフを増員し企業支援態勢を一層強化しました。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(1) 日常的・継続的な関係強化に向けた取組み

具体的取組策	通期取組状況
定期的な支援先の訪問により実態の把握と経営面でのアドバイス等の実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・経営支援先50先に対して延べ363回(平均7.2回/先)の訪問を行い改善計画の進捗状況のモニタリングや課題の解決に向けた提案・指導を実施。 ・金融円滑化認定支援先41先に対しては延べ264回(平均6.4回/先)の訪問を行い実態の把握と改善計画の進捗管理を実施。

(2) 目利き能力の向上

具体的取組策	通期取組状況
顧客企業のライフステージ等に応じた事業ニーズに対応できるように、「目利き能力」の向上にむけた人材育成と中小企業診断士の養成を継続的に実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修派遣:兵信協及び近信協主催「融資渉外研修会」(12名)、同協会主催「目利き力・企業再生支援講座」(5名)。 ・通信講座受講:「法人融資渉外実践講座」(5名)、「法人融資渉外基本講座」(7名)、「目利き力養成講座」(12名)。 ・医療・介護業界についての外部研修等を受講(審査部スタッフ)。 ・中小企業診断士の資格取得に向け職員1名を支援。

(3) ビジネスマッチングの推進

具体的取組策	通期取組状況
(社)兵庫県信用金庫協会が主催する「川上・川下ビジネスネットワーク事業」等外部機関を活用した顧客企業に対する販路開拓の支援。	<ul style="list-style-type: none"> ・「川上・川下ビジネスネットワーク事業」の活動では、新たに4社をシーズ企業に登録し販路開拓の支援を実施。総登録企業17社のうち2社で16先と取引が成立。 ・神戸商工会議所が運営するマッチングを目的としたWebサイト「マッチングプラザ」に新たに4社を登録(総登録数は12社)。
他金庫及び外部機関が主催する各種ビジネスフェアへの顧客企業の出展について支援。	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸商工会議所主催の個別商談会を始めとし各種のビジネスフェアや商談会を延べ60社に案内し顧客企業の販路開拓を支援。 ・信金中央金庫が優先出資者に提供する「優待カタログ」への商品掲載募集については、今期も取引先に案内を行い2社の商品が採用。また、信金中央金庫を通じて㈱三越伊勢丹のギフトカタログに4社の商品が掲載。
当金庫が主催する異業種交流会を通じた顧客企業に対するビジネスマッチングの支援。	<ul style="list-style-type: none"> ・11月に「産産学ビジネスマッチングフェア2013with大阪大学」への視察研修を実施(8名参加)。 ・3月に産学連携先の兵庫県立大学教授を講師として「やる気が起こるしくみ」をテーマに講演会を開催(52名出席)。
当金庫のWebサイト「にしんビジネスネットワーク」の活用を通じた、顧客企業の販路拡大に向けた支援。	<ul style="list-style-type: none"> ・「にしんビジネスネットワーク事業」への登録企業数は今期18社増加し112社。登録企業のうち4社でビジネスマッチングの取組みを実施。

(4) 創業・新事業支援、経営改善支援、事業再生、事業承継等に向けた取組み	
具体的取組策	通期取組状況
創業者向けの融資制度(地方公共団体・保証協会付等)及び創業・新事業に対する公的助成制度(国・地方公共団体の補助金等)の紹介・活用。	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業基盤整備機構の「創業補助金」事業に2先が採択。 ・創業関係以外の補助金としては、「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発支援補助金」事業に4先、「小規模事業者活性化補助金」事業に1先が採択。
支援先に対しての経営改善計画の策定支援と進捗状況のモニタリングを実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・経営支援先については、経営改善計画の策定支援や進捗状況のモニタリングを2か月に1度の訪問により実施。 ・金融円滑化支援先は、貸出金条件変更時の改善計画の策定支援とその後3か月に1度の訪問でモニタリングを実施。 ・今期ランクアップの状況は経営支援先で2先、金融円滑化支援先で2先の合計4先。
顧客企業の動産・売掛金担保といった保有資産の有効利用による新たな資金調達手法(ABL)への取組み。	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電事業に係る設備融資を24件355百万円取組み、うちABL手法(売電債権譲渡担保)による融資を5件127百万円実行。
次世代経営者等を対象にした事業承継支援を実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携先の兵庫県立大学教授を講師としたセミナーの開催。 「地域連携によるエコ・ヒューマンプロジェクトについて」をテーマにセミナーを開催8月開催:(42名出席) 「『地』的経営のすすめ」をテーマにセミナーを開催2月開催:(49名出席) ・9月に(株)大地農園の工場視察研修を実施(9名参加)。
(5) 外部専門家・外部機関等との連携	
具体的取組策	通期取組状況
外部専門家(弁護士・税理士・中小企業診断士等)や外部機関(地方公共団体・商工会議所・商工会・兵庫県立大学産学連携機構・ひょうご産業活性化センター・中小企業再生支援協議会・経営革新等支援機関等)との連携を強化し、顧客企業の事業拡大や経営改善など課題解決に向けた支援を実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の経営革新等支援機関(税理士)との連携の一環として、営業店長を対象とした「経営改善計画策定に向けた実践研修」を2回実施。 ・外部機関として、ひょうご産業活性化センター、県立大学産学連携機構、神戸商工会議所、中小企業再生支援協議会の活用を推進し、顧客の課題解決に向けた支援を積極的に実施。 ・ひょうご産業活性化センターの「中小企業技術・経営力評価制度」の評価書を10先が取得。 ・県立大学産学連携機構を4先が活用。 ・神戸商工会議所が主催した25社との個別商談会を取引先企業に案内し延べ22社が参加。 ・中小企業再生支援協議会へ4先の案件を持込し内2先が受付され、バンクミーティングが完了。また、経営改善支援センターへ1先の案件を持込。 ・姫路市商工会との間で「創業・新事業支援」及び「小規模事業者活性化補助金」に関して覚書を締結。 ・宍粟市商工会との間で「創業・新事業支援」に関して覚書を締結。
2. 地域の面的支援・活性化への取組強化	
具体的取組策	通期取組状況
「一般財団法人にしん地域振興財団」を通じた地域活性化に向けた積極的な取組み。	<p>〈助成実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動助成事業に2,608千円、地場産業振興発展助成事業に200千円、青少年健全育成助成事業に1,820千円、公共施設設備助成事業に924千円。

<p>地方公共団体等と連携し、地域の活性化に向けた取り組み。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総務省の「地域の元気創造プラン」のほか、地域活性化について宍粟市役所と継続的に意見交換を実施。 ・「宍粟市」PRの取組みに協力。 宍粟市のキャッチコピー「官兵衛 飛躍の地 宍粟」等を活用し、市のPRに協力。難読地名「宍粟」について、郵便物の地名表記に『しそう』のふりがなを付ける取組みに協力。 ・地元の高等学校と連携し、地域活性化(地域のにぎわいづくり)の取組みとして、当金庫本店ショーウィンドウに季節をテーマにした作品を展示。
------------------------------------	---

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

<p style="text-align: center;">具体的取組策</p>	<p style="text-align: center;">通期取組状況</p>
<p>顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮や地域の面的支援・活性化への取組強化等について、計画やその成果をホームページやディスクロージャー誌等で分かりやすく情報発信。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度の「地域密着型金融の取組状況」をホームページ(6月)とディスクロージャー誌(7月)で公表。 ・平成25年度の「地域密着型金融の推進計画」をホームページ(6月)で公表。 ・西播磨地域の中小企業102社を対象にした景気動向調査を実施し、調査結果を「にしん景況レポート」として公表(4月、7月、10月、12月)

4. その他地域貢献

<p style="text-align: center;">具体的取組策</p>	<p style="text-align: center;">通期取組状況</p>
<p>小中学校での金融教育活動(金融出前講座・金融教室)の実施。</p>	<p>「金融出前講座」を9校で実施。神戸小学校(9月5日)、三方小学校(9月30日)、戸原小学校(10月25日)、波賀中学校(10月29日)、千種中学校(11月8日)、一宮北中学校(11月18日)、河東小学校(11月26日)、道谷小学校(1月14日)、野原小学校(1月15日)。</p>

※「一般財団法人にしん地域振興財団」は、西播磨地域におけるコミュニティの形成及び地域の振興発展を図るため、コミュニティ活動、地場産業の活性化及び公共施設の整備などに対する支援を行い、地域社会の発展に寄与することを目的に、当金庫が基金の全額を拠出して設立された財団です。